

「大きな森になって」真庭・蒜山3小の児童 ドングリまき付け体験

ドングリを選別する児童たち



真庭市蒜山地区の3
小学校の児童が14日、
蒜山高原キャンプ場
(同市蒜山上福田)で
ドングリのまき付けを
体験し、自然保護の意
識を高めた。

川上、八束小2年と
中和小1、2年生計48
人が参加。キャンプ場
内でドングリを集め、
丸形のカシワと縦の筋
模様があるコナラ、楕
円形で大ぶりのミズナ
ラの3種に選別した。

種類ごとに育苗箱に並
べ、土と稲わらをかぶ
せ、水やりをした。

津黒いきものふれ
あいの里(同市蒜山下
和)の柴田加奈館長か
らは「森の枯れ葉など
の栄養が川を通じて海
に流れ、海の生き物が
元気に生活できる」な
どと植樹の意義を聞い
た。

ドングリは蒜山高原
スポーツ公園(同市蒜
山上長田)と各小で1
年間育てた後、苗をボ
ットに植え替え201
7年10月ごろ、同公園
の一部約100平方
メートルに児童が植樹する。川
上小2年池田あいさん
(8)は「元気に育って
大きな森になってほし

い」と話した。

B&G財団(東京)
が全国で展開する「海
を守る植樹教育事業」
の一環。同公園が主催
し、来年度以降も取り
組む。(原本洋輔)